

製品名: CD158f1/2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08226**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	KIR2DL5A
別名	
遺伝子 ID	57292.0
SwissProt ID	Q8N109/Q8NHK3
免疫原	アミノ酸配列範囲: 121-170 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

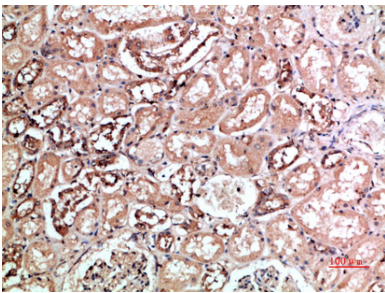
キラー細胞免疫グロブリン様受容体、2つの Ig ドメインおよび長い細胞質テール 5A (KIR2DL5A) ホモサピエンス キラー細胞免疫グロブリン様受容体 (KIR) は、ナチュラルキラー細胞および T 細胞のサブセットによって発現される膜貫通糖タンパク質です。KIR 遺

伝子は多型性があり、高い相同性を有し、1 Mb の白血球受容体複合体 (LRC) 内の染色体 19q13.4 上のクラスターとして存在します。KIR 遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子はすべてのハプロタイプに存在します (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2)。KIR タンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2D または 3D) と、長い (L) 細胞質ドメインか短い (S) 細胞質ドメインかによって分類されます。長い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達する一方、短い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は機能を持たない: ナチュラルキラー (NK) 細胞上の HLA-C アレルに対する受容体。NK 細胞の活性を阻害し、細胞溶解を防ぐ。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。類似性: 2つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。

研究分野

抗原処理と提示、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、移植片対宿主病、

画像データ



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された